

第2次常総市都市計画マスタープラン策定委員会【第4回】 議事録

1 開催日時 令和5年10月24日(火) 午後2時から午後3時

2 場 所 常総市役所議会棟2階 大会議室

3 議 事

(1) 全体構想について

(2) 地域別構想について

■議事要旨

・序章は世の中での環境の変化が記載されているが、常総市における内容が少ない。また、全体的に図が分かりにくい印象を受ける。また、公園と緑地、河川水路の整備、河川治水の方針は並び替えや一体化しても良いのでは。また防災の話も連携させるとより良いと思う。

⇒ご指摘のとおり修正を図りたい。

・A Iを活用した公共交通の「収容」とはどのような意味か。

⇒「A Iを活用したモビリティが公共交通として走行出来る場所」という意味だが、表現を検討したい。

・今回はコンパクトシティのような内容が改定のポイントになるという認識でいるが、「新しい土地利用は既存の集積の周辺に誘導」とはどのようなことか。

⇒既存拠点の周りを増やすような形である。基本的に既存ストックを活用しながら、その周辺に機能を集積していく考え。

・図が小さいところもあり、それに関連して値も小さくなっているため、図等の見せ方は変更の必要があると思う。また「誘導区域に浸水想定区域が多く含まれており、災害リスクの低い地域で都市的土地利用を検討すること」、「災害リスクとの共生を踏まえながら、移住・定住の施策と連携する」という内容があった。誘導するのか分散するのか、その方向性を伺いたい。

⇒住居系は災害リスクを理由にやらないということではないが、リスクの許容範囲が今後の課題である。大きな方向としては産業系や商業系等を誘導しながら、災害リスクや浸水想定区域の深い場所には住居系の誘導ができないので、安全な場所の検討や既存の市街地の充実等を図っていきたい考え。

・地域別構想は全体的にインパクトが弱い印象を受ける。「地域づくりの方針タイトル→地区の目標→絵→課題→まちづくり施策」という書き方が見やすいと思う。また、本庁舎の防災機能として「～に取り組みます」というような内容を書いて、防災を強化することで将来的に安全性を高めていきますみたいな内容があってもいいと思う。

⇒現状で記載できる範囲を検討したい。

(次のページへ続く)

- ・常総市では来年4月からコミュニティバスが運行予定であるため、コミュニティバス運行に向けた背景についての記載があっても良いと思う。市民の自動車保有率は高く、自動車依存型から転換として公共交通の活用や高齢化社会と人口減少社会において公共交通を見直すべきということで、改めて常総市は公共交通に取り組んだという経緯がある。加えて、カーボンニュートラルの視点に基づいた公共交通への転換としてもまちづくりを考えている等の内容を記載しても良いと思う。

⇒これまでの経緯や色々な現状の課題等も整理しながら記載内容を検討していきたい。

- ・今回改定する都市マスを要約した都市構造図の記載がなく、常総市の将来はどのような構造にしたいのかが分からないので図の作成が必要かと思う。

⇒ご指摘のとおり作成する。

- ・地域別構想の図は全体的に背景色と重なり、また青字等でも書かれているので、もう少し見やすいレイアウトが良いと思う。また、「AIモビリティによる三妻駅とASVの連携に向けた検討」とあったが、場所と場所の連携は言葉に違和感があるので、表現を検討されたい。

⇒表現方法を全体的に検討していきたい。